

平成14年度 秋学期島根県立大学「21世紀・地球講座」開講科目

【リレー講座】 会場：講義・研究棟 中講義室5

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
1	浅野 雅巳	グローバル化と人類の未来	冷戦終結後、急展開した世界経済のグローバル化現象、その反動として生じた反グローバル化運動などを視野に入れながら、世界の諸問題と人類の生き方を考えます。	10/9 (水) 18:30~20:00
2	堀内 好浩	IT革命と地域経済社会の構築	IT革命は閉塞感の漂う日本経済を再生させてくれる切り札として誕生しました。わずか1年でIT不況として論じられています。IT革命の本質を論じ、島根の未来(あした)という地域経済社会を展望します。	10/16 (水) 18:30~20:00
3	真柄 欽次	グローバル化時代のエネルギー政策	経済のグローバル化や新エネルギー技術と環境関連技術開発の波に乗って、国際石油資本の統合が進展している現状をふまえて、今世紀日本の取るべきエネルギー政策について論じます。	10/9 (水) 18:30~20:00
4	勝村 哲也 陳 仲奇 鹿 錫俊 小野田 操子	日中関係：これまでの10年、これからの10年	1992年の鄧小平の「南巡講話」以来、中国の経済的躍進は著しいものがあります。しかし、その評価については、「高度成長」説から「バブル」説まで、その将来については、「日本を追い越す」説から「まもなく崩壊する」説まで、見方は様々です。日本人と中国人による4人の講師は、ディスカッションを通じて、政治、経済、外交、学術、文化、宗教など、いろいろな方面から中国と日本の現状を考え、日中関係の行方を展望します。	10/30 (水) 18:30~20:00
5				11/6 (水) 18:30~20:00
6	吉塚 徹	北東アジア地域と「しまね学」の展望	北東アジア地域では今、自立と発展をめざした地域交流協働圏域の形成が進んでいます。その動きの中で情報発信・研究交流に寄与する「しまね学」について展望します。	11/13 (水) 18:30~20:00
7	張 忠任	中国WTO加盟後の中日貿易体制	WTO加盟に備えて、関税率の引き下げとともに、中国は付加価値税や所得税などの税法改正を行わなければなりません。この変化を通して、中国貿易への影響について展望します。	11/20 (水) 18:30~20:00
8	ワジム・シロコフ	ユーラシア主義国家としてのロシアと北東アジア	アジア・日本に対するロシアのイメージは、ソ連崩壊後生まれ変わってきています。ヨーロッパとロシアの2つの顔を持つロシアの国民感情とイデオロギー探求を紹介します。	11/27 (水) 18:30~20:00
9	横田 禎昭	古代日本海交浴-渤海王国と日本-	7世紀末から10世紀初頭までの約200年余、中国東北部から沿海州、朝鮮半島北部を版図としていた「海東も盛国」、即ち、渤海王国と我が国との交流を探り、北東アジアの歴史を見る視野を北へ東へと広げます。	12/4 (水) 18:30~20:00
10	鹿 錫俊	実地調査の映像から見た中国地域社会の変貌 —居民委員会と「社区 (community) 建設」とは何か—	実地調査の結果を踏まえて、中国政治の末端組織である「居民委員会」の歴史的変遷を追跡しながら、「社区 (community) 建設」の現状とその行方を、映像を交えて紹介します。	12/11 (水) 18:30~20:00
11	勝村 哲也	北東アジア、そして島根—見直される多様性と同一性—	地域を語る時、その地域のもつ個性や多様性が問題になります。しかし、地域間で対立や紛争があるときには、こうした地域間の相違を論じ、多様性を追求するよりは、同一性を確認の方が生産的であろうと思われます。こうした観点から北東アジア世界を考えます。	12/18 (水) 18:30~20:00